

10+
AGE15min
TIME3 ~ 6
PLAYERS

各アクションの詳細

ルール 2 枚目

②数字を宣言する→③アウトを宣言する。

②数字と枚数を宣言する

手札と場に出されたカードから何が何枚あるかを推理して、数字とその枚数を宣言します。宣言のルールは以下になります。

1 枚数は下げてはならない

2 同じ枚数を宣言したい時は、数字を上げる

※重要：数字は1～5までなので、「5が〇枚」と宣言された次のプレイヤーは必ず枚数を増やさなければいけません。

下記が例になります。



と言われたら…



数字を上げるか



枚数を上げる

「2が3」 → 「2が4」 → 「3が4」 → 「5が4」 → 「1が6」… という感じで進んでいきます。

※枚数は下がらないので、いつか配られたカードの合計を越えます。そのギリギリを推理しましょう！

③宣言にアウトする。

数字と枚数を宣言した次の手番のプレイヤーのみ、その宣言に対して、アウトを宣言できます。

アウトを宣言したら、全てのプレイヤーは手札を公開し、場に出されたすべてのカードを表向きにして、確かめます。

アウトと言わない場合は、カードを出して、より多い数字と枚数を宣言してください。



アウトと言ったプレイヤーか、言われたプレイヤーの間違った方が、ライフを失います。

④誰かがライフを失うまでを1ラウンドとして、誰かのライフが0枚になるまで、繰り返して下さい。

※1ラウンドが終わるごとに、捨て札は山札に入れなおしてシャッフルしてください。

命 (LIFE カード) を賭ける!!

このゲームでは、命そのものを使うことができます。

使うタイミングは②のカードを裏か表で出した後で、数字と枚数の宣言の前です。

使う枚数は何枚でもかまいません。

LIFE カードを使うと起こる事



①LIFE カード自体を WILD カードとして扱う

LIFE カードは、WILD カードと同じく1～5として扱います。

②LIFE カード出すと2枚引ける

LIFE カードは、WILD カードより多い2枚引くことができます。

③アウトでなければ戻ってくる

アウトにならなければ、使った LIFE は戻ってきます。もちろん2枚使って負けたら、一発負けになります。